

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「JR東系商業施設、気分にあった総菜提案」
 - 2) 「マクドナルド、全2900店“拠点”に」
 - 3) 「コカ・コーライースト、女性向け自販機開発」
-

1) 「JR東系商業施設、気分にあった総菜提案」

JR東日本子会社で商業施設を運営する横浜ステーションビルは慶応義塾大学などと共同で、消費者の気分に合わせて総菜を提案する産学連携事業を始めた。同社が運営するJR桜木町駅構内の商業施設で試験販売し、反応を見て本格販売も検討する。

試験販売は15日と16日の午前10時から午後9時まで、桜木町駅北改札の商業施設「CIAL」の総菜店9店で実施。客にスマートフォンなどで対話アプリのLINEを通じてそのときの気分を診断してもらい、気分にあった総菜を提供する。診断はストレスなどに応じて赤や青など4種類の色で表される。9店は4色のシールを貼った総菜を系87種類用意。診断にそって総菜を4種類まで選ぶと、気分にあった食事がとれる仕組みだ。

総菜は1パック150円-300円程度で、パックの形に合わせた専用の弁当箱も用意する。87種類の総菜から4種類を選んで組み合わせるため、最大で約200万通りの弁当ができる計算になる。慶応大は同社と連携して地域活性化の活動に取り組んできた。試験販売の結果を踏まえ、産学連携事業で提案した総菜をJR系の商業施設で本格的に販売することも検討する。

最近では栄養管理のされたお弁当や健康に配慮した惣菜が多く販売されているが、このお弁当は自分で組み合わせ、「気分」という新しい観点で選べるのが面白い。HPではSNSのページをつくるなど若い世代に向けたアピールもされている。総菜のバリエーションを増やすことにより飽きもなく、長く楽しめるお弁当になるのではないだろうか。

2) 「マクドナルド、全2900店“拠点”に」

日本マクドナルドは22日、全2900店でスマートフォンゲーム「ポケモンGO」のユーザー向けサービスを同日から開始すると発表した。約400店は「ジム」と呼ばれる拠点となり、他のプレイヤーのポケモンと戦うことができる。残る約2500店は「ポケストップ」と呼ばれる拠点で、ゲーム内で使う道具を手に入れられるという。

また、日本マクドナルドは20日、沖縄県内の老朽化店舗の改装をすべて完了したと発表した。同社は2015年から老朽化店舗を全面的に改装する計画を進めているが、県内の対象店舗の改装が完了するのは沖縄県が初めて。改装完了を記念したチーズバーガーのセット商品（390円）も県内限定で8月2日まで販売する。同社は18年末までに約2千店を改装し、全3千店の約9割を7年以内に出した新店もしくは改装した店舗にする方針。

マクドナルドと言えばオープン当初はファミリー向けのイメージが強かったが、近年店舗が小規模化してきたことや利用者層の変化により駅や都会でのオフィスワーカー・ビジネス向けの店舗に変わりつつあった。それが再びファミリー向けにシフトしている。店内のWi-Fi環境やゲームとの連携により集まれる場所ができたことは、子どもにとっても親にとっても嬉しいことだ。店舗イメージをすべてを統一するのではなく、その場所に合った店舗の展開が必要だと感じた。

3) 「コカ・コーライースト、女性向け自販機開発」

コカ・コーライーストジャパンは、女性に照準を合わせた自動販売機を開発し、1号機を千葉市美浜区のビル「幕張テクノガーデン」内に設置した。外観をカラフルにしたり、ストローを用意したほか、女性の需要が高い常温の飲料も品ぞろえに加えた。自販機利用は圧倒的に男性が多いことから、同社は年内に東京・千葉に200台を設置し、女性への販売拡大を狙う。

1号機は同ビル2階のクリニック前に設置。蝶や植物がカラフルに描かれた外観で、水・無糖茶・果汁飲料・紅茶などヘルシーな商品をそろえた。「体を冷やしたくない」といった理由で常温の飲料を求める女性も多いことから、20度に設定した水とお茶も一部販売する。

自販機の前面には、ストロー・紙ナフキン・コースターが入った箱を設置し、口紅を気にする女性にストローなどを使ってもらう工夫も取り入れた。6月21日の設置以来、コールド・常温商品ともに一定の売れ行きを確保しているという。

同社によると、自販機の性別購入比率は男性84%、女性16%と圧倒的に男性が多い。開発に携わった同社の岩崎恵子さんは「少しでも女性への販売機会を増やしたい」と狙いを話す。同ビルは約9000人が勤務・来訪し、女性の利用も多いことから1号機の設置を決めた。

女性向け自販機は他に、東京都内に2台設置済みで、船橋市内にもさらに2台を導入予定。同社は販売状況を分析し、今後、コールセンターやナースセンターなど女性の多い職場、女子高・女子大、婦人系医療機関などに設置を進める考えだ。

街なかにコンビニが充実しているので、これまで特に自販機に対して求めることもなく生活してきた。しかし、メーカー側からこのような提案があれば、自販機にも可能性があることに気がつくし、消費者からの要求も増えていくと思う。生き残りやコンビニとの差別化のためにこれからどんどん趣向を凝らした自販機が出てくると思うが、機械としての進化には限界があると思うのでどんな工夫が行われていくのか見て行きたいと思った。